



2018年11月9日

各位

会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 戸田 裕一
 (コード番号 2433 東証第一部)
 問合せ先 I R 部長 八木 聡
 (TEL 03-6441-9033)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年6月11日に公表いたしました2019年3月期通期業績予想を以下の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,470,800	65,600	67,100	41,700	111.84
今回発表予想(B)	1,454,000	65,600	68,600	47,700	127.87
増減額(B-A)	△16,800	0	1,500	6,000	---
増減率(%)	△1.1%	0.0%	2.2%	14.4%	---
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	1,335,030	52,187	54,364	29,834	80.03

2. 修正の理由

今回、当第2四半期実績及び足もとの状況を踏まえ、通期の連結業績見直しにつきまして見直しを行いました。今回の修正点ならびに考え方は、以下のとおりです。

◎ マクロ環境：当第2四半期の低調な国内広告市場の動きから、通期の国内広告市場の見通しを、これまでの+2%程度から+1%程度に変更しております。

◎ 連結売上高：当第2四半期の実績を踏まえ、通期の連結売上高の見通しを下方修正しております。

◎ 営業利益：連結売上高は下方修正しましたが、売上総利益率の向上と販管費コントロールの徹底によって、営業利益の見通しは、これまでの見通しを達成できると見ております。

◎ 親会社株主に帰属する当期純利益：営業外損益と特別損益については、当第2四半期実績に基づいて見直しを行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、これまでの見通しを上回ると見ております。

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上